



とよおか

# 議会だより

第 18 号

平成15年1月31日

発行/豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/龍共印刷(株)



どんど焼きの準備・傘はり

## 12月定例会

12月定例会の様子	2~3
予算特別委員会の様子	4~5
一般質問の様子	6~11
委員会だより	12~13
視察研修報告、議会だよりアンケート結果	14~15
「私の一言」合併問題研究の状況、編集後記	16



この議会だよりは、再生紙シュールコートを使用しています





容器包装ゴミ分別の状況(伴野、東京スプレー)

# 12月定例会のようす

堀越的坂線 1,670万円  
南市場 竹ノ下線 1,830万円など

## 小規模予算

### 補正予算

第四回定例会が十二月十日から二十四日まで行なわれました。一般会計と各特別会計の審議、暴走行為根絶の条例審議、陳情・請願の審議、議員提案の意見書の決議などです。予算規模は比較的小規模で、公共投資は村単二路線の改良などです。他は十三年度繰越金を予備費に充当するものです。

#### ◆一般会計

一億九千九百九十九万七千円を追加、総額で三億七千五百九十九万五千円になった。

主なものとしては一貫道路街路灯四十基分の電気料として四万二千円、海外・国内の研修事業補助不参加による減額補正百五十万円、障害者福祉計画検討委員会報酬十四万八千円、精神障害者授産施設建設補助金として四百四十五万二千円、ゴミ収集委託料や北部衛生協議会負担金など百七十七万三千円、道路改良費として堀越的坂線一千六百七十万円、南市場竹ノ下線一千八百三十万円、災害復旧費一千二百万円、商工費で県信用保証協会保障料として七百万円の追加、有害鳥獣防除対策費で二百七十二万五千円の追加などだが一番大きなものでは、十三年度の繰越金未計上分等一億四千五百

#### ◆国民健康保険特別会計

六千五百九十万円の増額補正で総額四億一千八百六十五万六千円になった。

老人保健特別会計への拠出金百十万円減額だが、一般高額療養費へ四百万円と大部分は十三年度の繰越金の予備費への充当するもの。

#### ◆老人保健特別会計

七千三万六千円の補正増で主なもの老人医療給付費が不足しそうな見込みとなったため七千万円を増額するもの。

また今冬のインフルエンザ接種は八百八十人の実績だった。

#### ◆介護保険特別会計

二千五百八十六万五千円の増額で総額三億八千三百九十六万五千円となった。

介護サービス等諸費の関係で二千二百六十八万円の増額、予備費へ二百二十九万六千円の充当。

#### ◆簡易水道事業特別会計

二千四百六十八万六千円の追加で総額は一億九千二百六十八万六千円。

光熱水費二百二十五万円の追加と十三年度繰越金の予備費への充当二千二百四十三万六千円など。

#### ◆下水道事業特別会計

三千三百三十七万一千円追加し総額で三億五千五百九十二万四千円になった。

消費税確定の半額分として百九十六万五千円、予備費へ二千九百四十八万一千円など。

## 条例

◎暴走行為を根絶する条例の制定

これは飯田方面などで暴走行為を繰り返して、市民の平穏な生活を脅かしている状況があり、近隣の同様な広がり、起ることをおそれ、北部五町村で足並みをそろえて上程されました。

内容としては暴走行為の禁止、

## 意見書

それを発見した際の運転者などの警察への通報の責務、行政の責任などが定められています。また警察の検挙、罰金を科することが可能となります。

○医療保険制度の改善を求める意見書

○ILO第一七五号条約及びILO第一一一号条約の早期批准を求める意見書

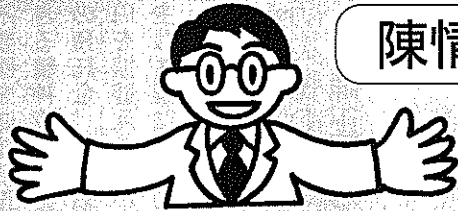
○基礎年金の国庫負担割合三分の一を二分の一へ早急に引き上

## 決議

意見書の中で「地方自治の確立に関する意見書」が全会一致で採択された。これはいま全国で市町村合併が論議されているが、国の思うように合併が進まないため、合併しない町村に對

意見書の中で「地方自治の確立に関する意見書」が全会一致で採択された。これはいま全国で市町村合併が論議されているが、国の思うように合併が進まないため、合併しない町村に對

## 陳情・請願



- ◎知的障害者の地域生活への援助を求める請願 採択
- ◎医療保険制度の改善を求める意見書 採択
- ◎「ILO第175号条約及びILO111号条約の早期批准を求める意見書」及びパート労働者及び有期契約労働者の適正な労働条件の整備及び均等待遇を求める意見書の採択についての陳情 採択
- ◎「基礎年金国庫負担引き上げを求める意見書」の採択についての陳情 採択
- ◎超大型店「ベイシア」の出店阻止に関する陳情 採択
- ◎「遺伝子組み替えイネ」を承認しないこと、並びに表示に関して、国への意見書提出を求める請願 採択



休日議会の傍聴席 12/15(日) 一般質問



# 税金の使い方を

# 聞きました

## 予算特別委員会

十二月補正予算は十三年度の繰越金を源資として、歳出の不要額を減額補正をし総額一億九千万円を追加し、山吹にできる精神障害者授産施設への補助、商工業者の資金調達の為の預託金、村道新設改良への支出と予備費へ一億四千五百万円を振替えるのが主なものである。予算特別委員会における主な質疑は以下のようである。

### 防災費の補正減多すぎる

北沢議員 非常用持出袋とバケツについて当初予算二百十四万円補正減額百七十万円、四十四万円の支出があるだけだが、事前の要望調査を行ったか。不要であれば地震対策等に当てることはできないか。

毛涯課長 非常袋とバケツは村名を入れて各戸で購入する予定であったが注文がなかった。公費として村で購入してある。地震対策への流用は考えていない。

久保田議員 名誉村民である片桐白登画伯の作品購入についての説明を

森田教育長 遺族から購入してほしい旨の申出があった。教育委員会に諮り委員を委嘱して検討してもらおうことになっている。

### 焼却ゴミの収集、山間地区の場所増やせないか

吉川議員 紙製容器収集委託料百万円減額になっているがなぜか。

森田課長 当初見込みより集まる量が少ない。過大の見込みだった。逆に廃プラスチックは当初十三トンの計画が三十四トンになる見込みで委託料の変更をしたい。

片桐議員 焼却ゴミの山間地区の収集場所が少ないが増すことはできないか。

森田課長 現在一台のトラックで収集しているため山間地区が少なくなっている。様子をみて検討したい。

### 村単道路改良 あり方の検討が必要ではないか

唐沢議員 公共事業のあり方について県も見直しをしている。村単事業も村の財政を考えて幅員、勾配、待避場などあり方の検討が必要ではないか。

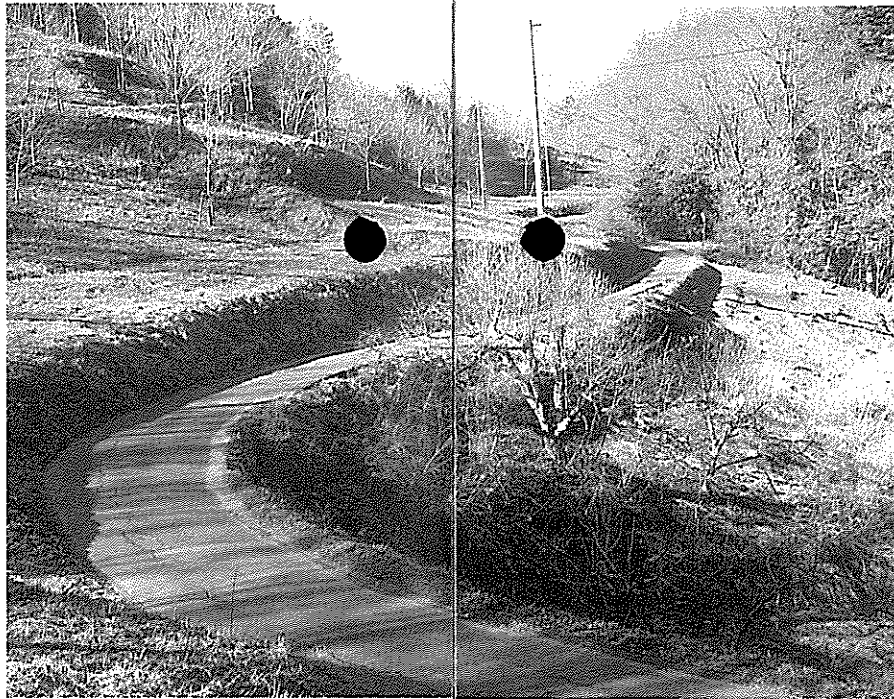
福沢課長 的坂線全長六五〇米だが今回堀越区民会館上より一五〇米、幅三・六米千八百万円、南市場の竹の下線一〇〇米幅二米の拡幅改良である。的坂線は全線改良すると決まっています。

下平議員 村単三千五百万円がどれだけの経済効果があるのか疑問だが。

村長 すべての公共事業が押えられている中で、村民の要望も実現させ、元氣の出ることも考へ気持ちの上での効果を期待している。今までと違った考え方で公共事業をやりたい。



白登画伯の「郷里展望」(役場二階に掲示)



村単で改良される的坂線

### 国保特別会計の収支あっていない

唐沢議員 国保特別会計への繰入金百十万円について、国県からの収入がなければならぬが計上されていないのはなぜか、同一補正で処理すべきではないか。

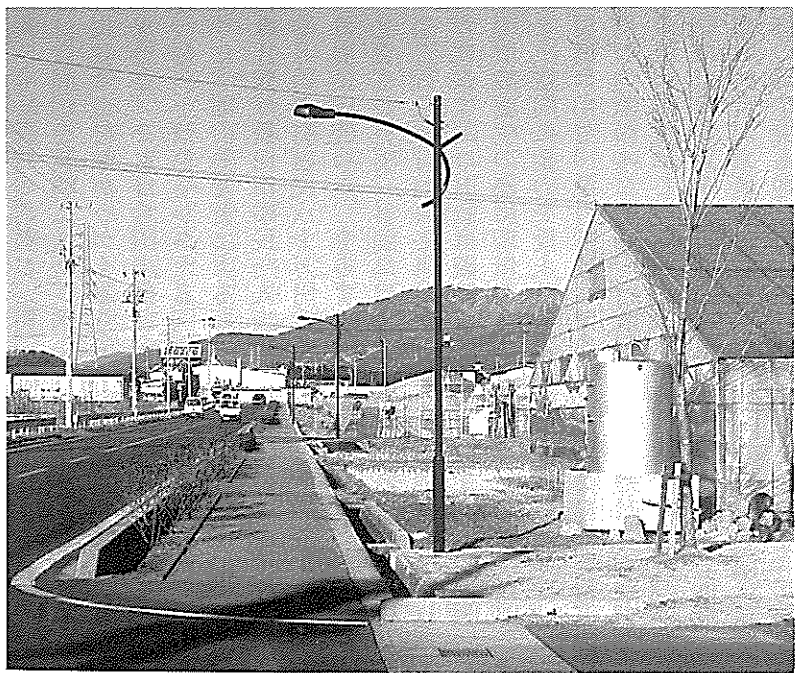
伊藤課長 指摘どうり間違いであった。三月の補正で計上した。

### 南市場教員住宅土地購入費 不用額一五二万円

六月議会の補正予算として計上された南市場の教員住宅の土地購入費は二重買いになるのではないかと議論がされ、執行停止になっていたが、その後地主から村に売ったとの証拠書類があったとの申出があり、今回不用額となった分が減額された。

### このほか主な支出は

- ・精神障害者授産施設補助金四百四十五万円 山吹にできる施設の土地購入費二千六百万円を北部五町村で負担する
- ・一貫道路街路灯電気代四万円 今年度役場より南北へ四十基設

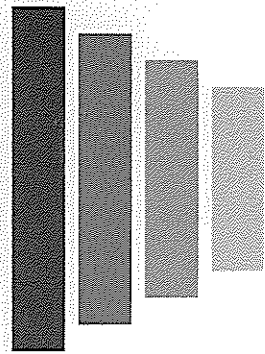


一貫道路に設置された街路灯

- 置した分
- ・有害鳥獣防除二百七十二万円 鹿、猪各五十頭捕獲、網など追加するもの
- ・田村大井改修設計委託九十五万円(村支出分)
- ・商工資金調達のため県信用保証協会への保証料補給金として七百万円を追加
- ・水土保全森林整備百二十八万円
- ・予備費に一億四千五百万円などが主なものである。

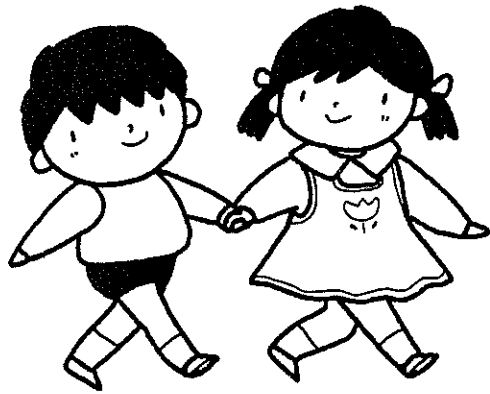
経済状況が厳しい中で補正予算による雇用創出が計れるかの質問に関連して役場の嘱託職員の採用が地域的に片寄っているとの批判があるとの発言があり、今年度の採用状況の説明があり、嘱託職員四名、学校保育園の臨時雇用四名で小園三名、中芝、林里、堀越、山田、喬木村各一名との説明があった。





# 一

# 般



育等々学習を深めていく中で活性化へつなげる。

質問 介護予防拠点施設(はつらつ)への交通安全対策について。

村長 早期に一貫道路へ横断歩道の設置が実現できるよう、県公安委員会へ要望をしている。村長次期への取り組みについて

質問 村長次期への意思表示をお伺いします

村長 就任以来、私なりに村民

福祉向上のために誠心、誠意運営に当たって来たこと、自分なりに満足をしています。数多くの村政取り組みの最中であり、自分自身の気持ちを整理している段階です。今定例会の最終日か、年明けの議員皆様のお集りの席で、再出馬の如何について表明をさせていただきます。

## 質 合併と小さな政府について

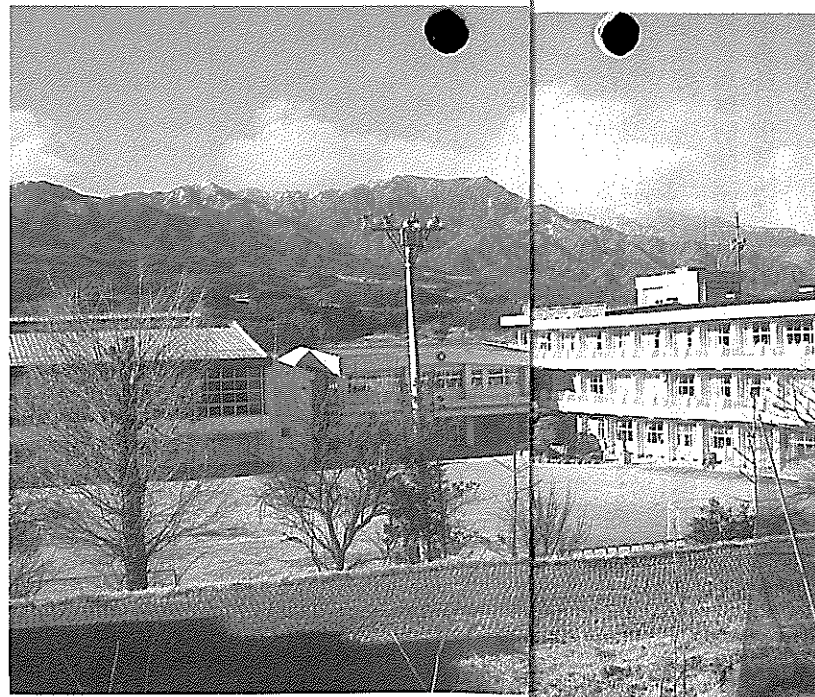
答 自立の付帯的研究はまだ

田中 實

質問 合併特例債の期限は二十七月後と迫って来ました。国と地方で借金が七百兆円に達し、ここ三年で百五兆円と増えつづけ倒産・失業・犯罪は増え、国債の信用失墜、大企業の倒産など典型的な危機である。こういう事態の時が大切か。「悲観的に考え楽観的に行動すること」出すべきうみを出すことが必要であり教育や、介護人を直接相手とする事業に、道路より、港より、人が大切であり、収入は乏しくと、生がいがあれば人は幸せに生きられる。合併について飯田市を中心とした、一郡一市の在方研究会の第二次まとめ案について年末に十七町村長が話合うそうですが、まとまらなと思う。まずは北部五町村の議会の進め方についても高森町長は自立の方向で進めており、高森町の入らない合併は、河野

山吹間の天竜川への架橋など合併特例債の活用は無理となり。村として自立の道の研究は進んでないと思われ。埼玉県の志木市では職員の新規採用を五年間ストップ二十年間で六百人を三百人に減らす、ドイツ方式では議員報酬はゼロで土・日と夜間の議会に変えて小さな自治体づくりの考えは。

村長 自立の具体的研究は行っていません。二十八日に町村長が腹を割った話をし、新年に庁内で検討をし、合併のメリットは天竜川に橋を架ける事が竜東の発展につながると思っております。高森町と一番接しておりますが考え方が違っており、合併の方向は十五年三月頃各町村で出されて来ると思えます。自立の資料も本気で分析し作成して行きます。



児童数減少が懸念される北小学校

# 質

質問 一般質問をお願いし、前向な答弁をいただいた中から、取り組みについて質問致します。○庁舎周辺の芝生へ歌碑、句碑等を配置して、芸術文化のある

役場とする提案について。村長 庁舎建築当時、周辺はさっぱりした形が良いのではと云う事で取り組んだ経過があり、まだ取り組みが進んでいない。

吉川 玲

## 質 北小児童数減少解消対策は第四次振興計画で支援

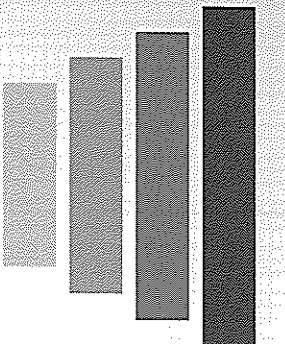
今後内部で前向に検討したい。

質問 北小学校児童数減少解消対策の取り組みについて「住宅誘致担当係の設置等体制を充実する」と答弁されましたが、

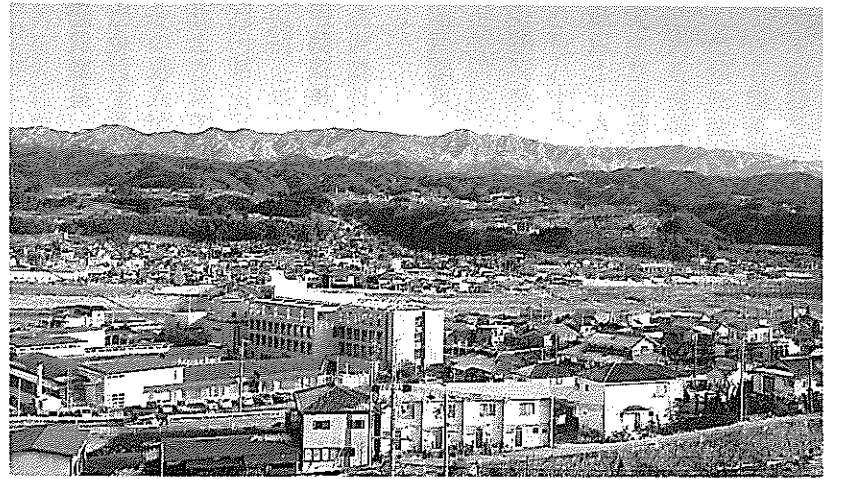
村長 民間に任せて来た。第四次振興計画で、行政支援を図ってまいりたい。

質問 地域の活性化が村の活性化につながると思いましたが、地域活性化支援にどう取り組まれましたか

村長 十四年度から公民館長を常動にし、公民館活動、生涯教



# 問



高森町から豊丘村をのぞむ

## 質 町村合併への村長の対応

答 合併論議には参加村民に情報を

福澤 幸雄

質問 七年前時の村長に、町村合併の問題を質問した所、国から現在の交付額がつづく限りやらないと。それが今国の税収の十分分以上債務をかかえる国となった。郡市勢要賢によると、行政経費が飯田市市民一人当たり四十万円郡町村民八十万円と多くの税金が使われ、すみずみ迄社会資本が充実、谷間迄良く日の当る行政が行われて来たが、ここに来て国の財政は破綻、今の財政更生の為に聖域なき改革を主目的に全力を投入して居る現情の中で、地方行政も財政は同じ血脈の中であり、行政経費の低い体質にしなければならぬのではないかと、一昨年塩尻で市町村長、議員の町村合併の研修の時中央も地方も、国賊が多過ぎると発言したが、国も地方も体制の整備再編の時が来た

のではないかと。提言として一、合併するなら見える範囲で二、村長も議長も責任を持って方向を決める事三、豊丘村民益を中心に考える事、交付税十年間据置

村長 このすばらしい豊丘村、美しい自然恵まれた大地、村民がそれを自立で今後やると云うならそれも良しと思う。しかし豊丘村三十年前と比べ社会資本も充実、交通通信生活の範囲など合併して、生活する上で不便が出ないのではないかと、又効率的自治体運営が将来的に進んでくるのではと、良い面があると思うが、豊丘村のみで結論づけるのではなく、地域全体の事も理解し合併論議には参加情報を村民につなぎ今年前半に結論が出る様考えたい。

# 問 質 般



郷土沢部会 公聴会

## 質 公聴会からどう受けとるか 答 数ではないと思っている

前 沢 光 昭

質問 十一月二十八日郷土沢部会の公聴会が行なわれた。公募者と当日参加の公述者十九人のうち十三対六でダムなし案支持が多数であった。

この公聴会から村長はどうとらえているか。今後の対応として村長の本音はどうか。ダムに頼らない水道計画についてどうするか。またダムの建設のあるなしにかかわらず、掘削した林の新水源についてどうするのか。村長 公聴会については数ではないと思っている。今の計画を基本に治水利水計画を進めていただきたい。今までの経過から二十一日の部会で集約して「両論併記」で報告される。水道計画についてもダムがだめとなれば今まで部会で提案のあったことも参考にさせていただく。

林の新水源については、最近

それでもまだ交通弱者は残っている。この費用の効率を上げるための検討委員会を立上げるつもりはないかお伺いしたい。

私はこの質問をするに当たって長野市の陸運支局に行ってきた

また。規制緩和が進む中で自治体が行うならば村の持っている白ナンバーのワゴン車や乗用車のままで交通空白地帯の運行ができる、運転者は定年後の人や臨時雇用でもよい。路線を決

はペーハーが下がり安定してきただけで変更認可の申請の準備を行っている。

住民参加の行政について

質問 十一月十二日に第四次総合振興計画策定委員会から村長へ答申がされたが、今回は公募方式による住民参加も導入され、他の審議会などにも同様のやり方が主流になり住民参加が進んだ。しかしその一方で、村政懇談会では参加者も減り、参加する人も決まっている、危機的状況と思うが、今後のやり方に検討はあるか。

村長 参加人数は百七十九人で前回に比べ五十五人減っている。人数が少ないからとやめる考えはない。また自分の地域は自分達が考え、力合わせていくことが大事だと思う。

## 質 福祉タクシーはどうなる 答 財政軽減できるかたちで存続したい

片 桐 秀 人

質問 福祉タクシーの十三年度利用者二万七千人、村支出金千八百万円、今年度の村支出金は二千万円と見込まれていますが今後どのように考えているかお

伺いたい。一方少子高齢化でスクールバスを利用する児童が減少して行くが、これに支出している費用が二千六百万円で両方合わせて四千八百万円である。

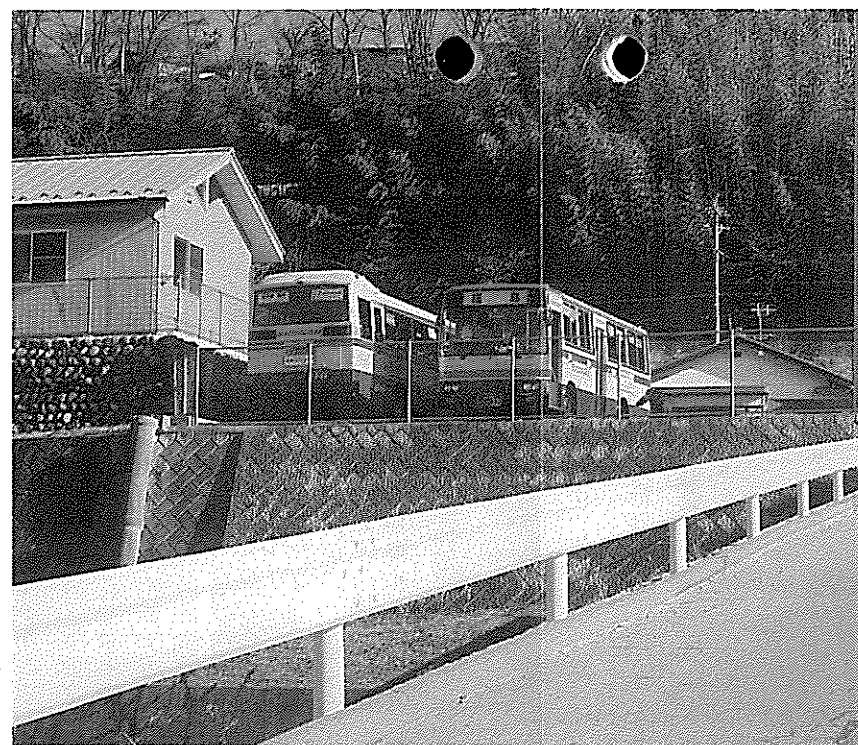
めての運行でなく村内又は村外周辺の面をカバーする運行で良いことに緩和されている。

こうした規制緩和を研究し、将来の村の通園通学福祉タクシーを含めて費用の効率化と利用拡大を計る検討委員会を設置する考えはないか伺います。

村長 福祉タクシー制度は豊丘の地形には最上の手段と考えて

いる。これからも引き続いて財政軽減できるかたちの中で存続したいと基本的には考えている。

検討委員会については社会委員会で検討頂く中で新しいものを立上げることがどうかについては総務委員会にも御意見を聞きまして検討して参りたい。



村民の足の確保 スクールバスの利用は

# 一



在宅介護支援センター

## 質 合併の選択より自立の道を 答 地方交付税の削減が心配

唐 沢 啓 六

質問 ①地方交付税は自治体間の税収のアンバランスを調整し、標準的な行政水準を財政的に保障する機能を有していると考えられる。村長の認識は、又最近の政府による交付税削減に対する見解は、②一万人以下の町村の自治の制限を奪い、強制的に合併を押しつける「西尾私案」に対する見解は、③全国では多くの自治体が自立の道を進もうとしている。本村の福祉タクシー制度のような町村独自のとりくみが合併によって失われる心配がある。合併を選択せず、自立の道を歩む具体策を村民に示すべきと考えるか。

村長 ①地方交付税のもつ財政調整機能、財源保障機能を堅持すると共に、必要な総額を確保すべきと考えるが、近い将来大幅に削減されるのではと心配している。②町村の自己決定権を

ふみにじり、住民自治を否定し、憲法で保障する地方自治の本質を真向から否定するもので、絶対容認できない。③国の財政的取り扱いの核心部分が分かっていないので予測でしかたてられない。今後どうなるかを見定め見直し案をたてて村民に示していく。

介護保険制度の改善を

質問 要介護度別利用限度額の超過分は全額自己負担となるが、泰阜村では超過分を全額村で負担している。真に必要なサービスが経済的事情で受けられないことのないよう、本村でも軽減策を講ずるべきと考えるか。

住民課長 泰阜村の実態は把握していないので調査したい。現在、次期介護保険事業計画を検討中なのでその中で研究していきたい。



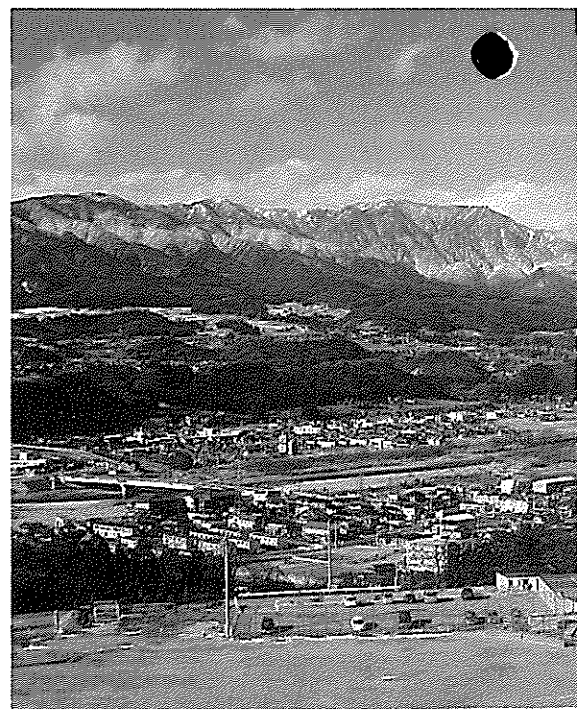
# 一般

会の様子から、薄々想像はつきませんが、協議はしていません。③まだ国の施策が不透明で判断できる段階になっていません。

質問 北部五町村の合併が最善と考えるなら、何故具体的な働きかけをしないのですか。今首長に求められているのは、財政的にも、政治的にも、自主的に自立できる自治体づくりであり、その為のリーダーシップをとることではないですか。

村長 前から言うように、一番肝心な財政、人口等の方針がはっきりしないので、確たる方針を示すことができないでいます。

質問 十七年三月という優遇措置のあるうちで合併することが有利ですから、すでに時間との戦いになっています。もっと確たる発想をもってリードしてほしい。



林公園から下伊那北部をのぞむ

樹種転換事業(三次原東)



## 質問 県の財政改革プログラムの影響は

### 答 松くい虫対策四年で五千八百万円

北澤 貢

質問 県の財政改革推進プログラムによると厳しい財政の中で財政再建団体への転落を防ぐと八十余りの事業廃止や見直し縮小など二〇〇六年までに行おうとしている。豊丘村が対象となる事業と影響はどの程度か。

村長 県の財政改革推進プログラム案は今のところ新聞報道、インターネットでの情報のみで地方事務所へも一月中旬になってという事で不透明なところもある。直接影響があると思われる事業は、松くい虫防除対策補助金、単年度で一千四百五十万円、四年間で五千八百万円となる。土地改良事業の県のかさ上げ分、十五年度で二十万円、全体で三千八百万円の事業費とすると一〇%に当たる三百八十万円となる。

質問 介護慰労金も本年度で廃止となるが県の補助金部分をかき上げ支給する考えは、年齢がきたら一律に補助するような補助金の見直しをする中で、支給はできないか。

村長 上乗せはできないと担当課とも相談しているわけでありますが、そういう意見を拝聴致しましたので、社会委員会とか関係のところと相談させていたきたいと思います。

質問 新年度予算編成と第四次振興計画の優先順位はどのように決めるのか。

村長 新年度予算の編成は四月に村長、村議選がありますので当初予算の編成は通常骨格予算であったが、できるだけ通常予算で計上したいと考えています。選挙がすすみ新しい体制の中で振興計画等、余裕を持たせた中で肉付けをしていく。

# 質問

## 質問 北部合併で活動を

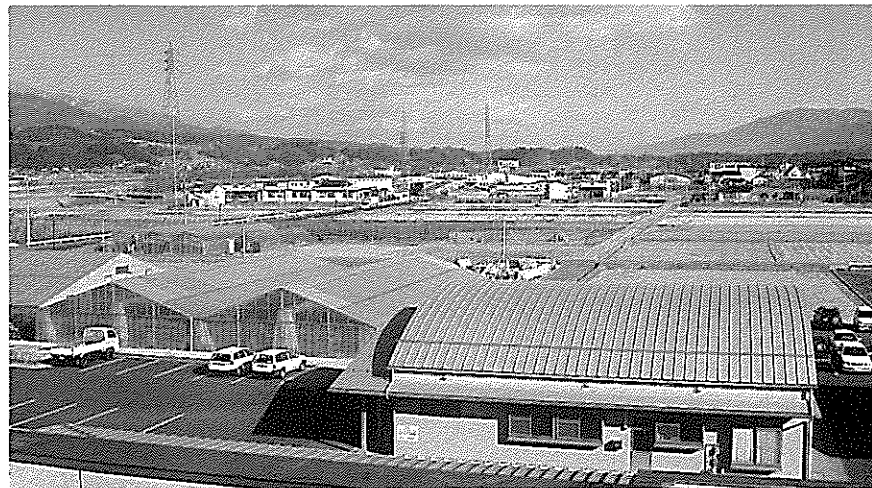
### 答 国の方針を待っている

奥山 義臣

質問 今、豊丘村の合併について考えて見ると、三つの選択肢が考えられます。

一つは飯伊全域の合併でありもう一つは北部五町村による合併であります。そして、今迄通りの豊丘村として自立して行く選択であります。そこで、

①北部地区の合併をどう考えるかお聞かせ下さい。



産業振興と住環境の調和が課題

## 質問 第四次豊丘村総合振興計画について

### 答 ハードな事業からソフトな事業へ

下平 豊久

質問 第四次豊丘村総合振興計画と国土利用計画豊丘村計画案が提案され、心ふれあい しあわせ実感 うるおいの郷 とよおか……のもと人口七千五百人とする我が村の将来像を見据えた基本的な方向が指し示されています。合併問題が論議されている現在、地域社会をより良く活性化し発展させて緑と自然を生かした住みよい豊丘村を実現するうえで、総合振興計画を着実に実施することが求められているが、平成十五年四月より始まる初年度の具体的な実施計画をどのようにお考えか質問する。

村長 総合振興計画は村民憲章を基本理念に、真に豊かな心と幸せが実感できる村づくりを進めるものだ。計画実施には厳しい財政の中創意と工夫、知恵を

出して努力する、いわゆる公助から共助の時代にした。

質問 優良農地を保全しつつ工業や商業の振興を図る。そして優良な住環境を創出し、人口の増加をはかるための具体策、農業振興とも関連し村内だけでなく新規就労者を探すだけでなく人口増も考えた村外からの農業就労者を招き入れるような積極的な施策を展開するといったお考えはもてないのか。

村長 優良農地を確保すると共に宅地、公共用地の転換は計画的に進める。良好な住環境を備えた優良宅地を確保するが予定地は未定だが、河野地区の人口増対策を主に考えたい。

農業を主体的に取り組む人が出てくるのを待っている。その人たちの法人化も考えたい。

②今迄に北部地区の首長さん達と、どのような協議をしてきましたか。

③十二月下旬に開かれる首長さん達の協議会で何を主張されましたか。ご自身のお考えを。

村長 五つの町村での合併が一番いいんではないかと思っております。又、一月になってから自立してやっていけるかどうかの研究も深めてまいります。

②について、新聞の報道や、議



総務

道路以外での暴走行為も罰則

近頃、道路や公園、広場等で夜間暴走行為をする若者があり更にこの行為をほう助する人がいて、村民の不安はついつい増えています。この条例は地域ぐるみで暴走族を追放しようとするもので、住民皆で協力し合い、安心で安全な地域を創ってゆきたいものです。

総務委員長 筒井卓徳

道路で暴走行為をした場合は道路交通法によって取り締まることはできたのですが、公園や広場等、道路でない場所での暴走行為は野放しの状態でした。飯田市では四月より、条例を制定しておりますが、十二月



心ない暴力行為 林公園

だより

委員会



村内商業に影響の大きい大型店

進出は許さない

もう大型店

経済建設

経済建設委員会に付託された千平方メートル・駐車八百台・扱い商品・食料・衣料家電・その他

請願者の皆さん、下伊那商工連合会・飯田商工会議所・県より北部の商工会・みなみ信州農業協同組合の皆さんからのもの十二月議会の委員会を二回開催を致しまして審議の内容を報告致します。出店の規模があまりにも大きく飯伊地域の商圈に

与える影響が深刻なものである、

このため採択して頂きたいむねの請願であります。この採択は全ての大型店の進出を否定するものでなく、超大型店に限る条件のもとで全員で採択することに決定しました。

\* 行政として適法な商業活動に対し阻止活動をするのがよいか

\* 消費者の利益も考える必要があるのではないか

\* 地域の小売り店を守るべきで特に豊丘村の数少ない商店を減

経済建設委員長 鹿角鉄男

社会

将来の上水道の確保は

将来に向かって上水道の水の確保は豊丘村民にとって重要な課題となつて参りました。蛇川から取水すれば良いと云う意見もあるが、夏場など小波川ダムより蛇川に水を日量二千五百ト

◎一般廃棄物処分場着工

前後の補給をしている状況にあ

り、豊丘村行政にとって今後最

大な課題であります。表流水を

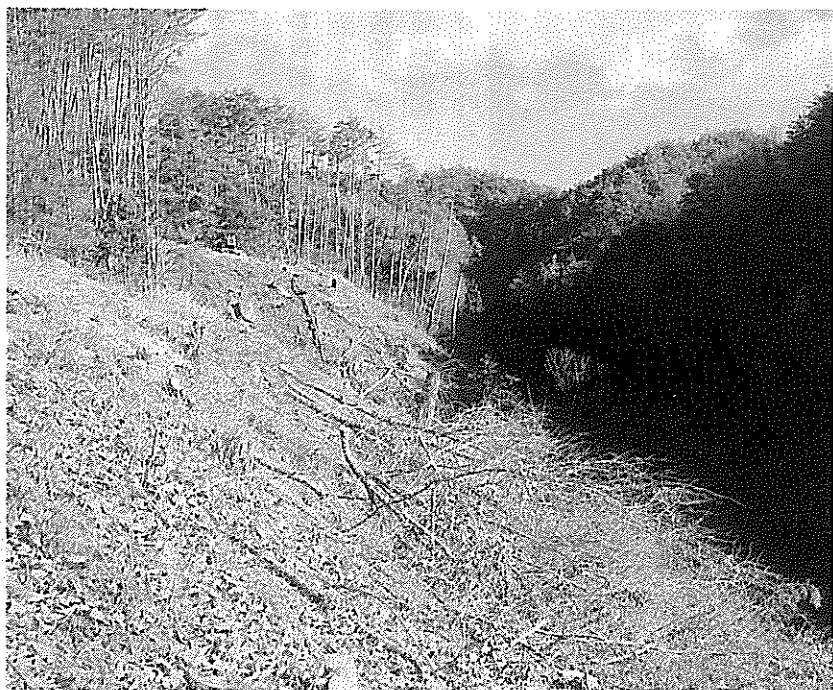
利用するにしても水が必要であ

ります。郷土沢ダム計画は、県

度に使用出来る様、着工致しま

の検討委員会の結論として両論併記となりましたが、ダム必要案が採択されれば大きな豊丘村民益につながると思ひます。

総工費五億九千万円 社会委員長 福沢幸雄



一般廃棄物最終処分場工事着手



### 岩手県金ケ崎町 環境保全と生涯学習に力点

○田園環境基本条例  
豊かな自然環境に恵まれた町も、生活の利便性の追求の結果環境悪化が進行。人と自然が共生できる町づくり実現のため、平成五年より検討を始めて、十年に田園環境基本条例と基本計画を策定。役場自ら専任職員を配置、率先して実行し十一年にはISO14001を認証取得した。これにより町民や民間企業へも環境保全への理解協力を求め、町を挙げての取組みを展開しているところである。

○生涯教育の推進  
社会情勢の変貌、若者の流出や主婦就業増加等による青年、婦人団体活動の衰退、地域共同意識の希薄化等の進展に町長も強い危機意識を示し、生涯学習が本格的に推進されている。地域の難色もあったが、町内

を六つの生活圏、四十六の自治会に再編され、生活圏には生涯教育センターとして公民館、体育館、グラウンド、公園などを整備。

町民総合大学講座、国公立大学講師陣による講座のほか、小学生から高齢者まで各階層を対象にした学習機会の提供に加え、各生活圏でも、地域住民の要望に合わせた多様な学習が活発に行われている。企画立案から地域住民が関わっている。

(池田祥明)

### 秋田県六郷町 命の水を守る取組み

六郷町は奥羽山脈を背景とし扇状地上にあり、古くから豊かな地下水を生活用水として利用してきた。ところが近年、水田農業の悪化等により、特に冬場の渇水期には水量が減少し、以前は百を越えた湧水も六十程度まで減少した。

町ではこれに危機感をつのらせ、秋田大教授の指導の下、十年の歳月をかけ調査研究を繰り返し、今では湧水も七十五か所までに復活した。町でとった地下水保全対策は次のとおり。

○水田を水瓶に活用  
試験研究に基づき、四か所の水田を買い上げ涵養池を造成。最大のは面積三十アール、水深五メートル。稲の刈取後借上げて水を張る水田まで合わせる七十ヘクタールに及ぶ。

○用、排水路は脱コンクリート  
水路の底も透水性の資材又は素掘りとし、町内にいたる所で透水を工夫。

水田がもたらす地下水涵養効果は年五千二百五十万円相当と推計され、ダム開発による水源開発との比較では年四億円の



街の中にも随所に湧水が

### 秋田県南部(大森町) 老人福祉総合エリアの施設と運営

秋田県南部の三市十五町七村をエリアとして、高齢化社会の進行による多様なニーズへの対応を目的とした総合的・複合的機能を備えた施設。

敷地 十四・七ヘクタール  
延床面積 一万九千六百㎡

総事業費 五十八億円  
運営管理 県社会福祉事業団

主な施設は

- ・コミュニティセンター(食堂・理・美容室・大広間・大浴場・ゲートボール・パターゴルフ・室内運動場・温水プール・宿泊室等)
- ・生きがい創作館
- ・子供と老人ふれあいセンター
- ・在宅老人介護センター
- ・養護老人ホーム
- ・診療リハビリセンター
- ・軽度老人ホーム
- ・老人専用マンション(定員二十四名)

更に地元大森町では

- ・町立病院
- ・介護老人保健施設
- ・高齢者等保健福祉センター
- ・特別養護老人ホーム

以上を併設し、各施設が連携をとりながら一大福祉総合エリアを形成し、高齢者に安心と生きがいを提供するよう運営に努められている。地域住民や世代間交流もめざましくあり、今後の高齢者福祉の在り方における、まさに先進事例といえる。

(吉川玲)

# 研修報告 行政視察

2班に分かれ、各テーマごとの先進事例を視察

議会では9月下旬から10月にかけて、全員がしました。その概要を報告させていただきます。

## 京都府園部町 農業公社及び管理条例

園部町では「森林及び農地に関する管理条例」について町の職員から話しを聞きました。森林や農地は、私的な財産であっても、食料供給の源であり、水と緑を育む等公共性の高い資源であるという認識を持ってもらう為の条例です。

園部町では「森林及び農地に関する管理条例」について町の職員から話しを聞きました。森林や農地は、私的な財産であっても、食料供給の源であり、水と緑を育む等公共性の高い資源であるという認識を持ってもらう為の条例です。

○園部町農業公社の活動  
農作業の受託をする為に公社



## 福井市 自分たちの手にするまちづくり

福井市の市民参加型まちづくり事業(運動会型市政運営)の視察を行なった。この取組は現在の酒井市長が「市民参加型市政運営」を提唱し平成六年度から推進してきた「うら(私達)がまちづくり事業」は市内四十三地区すべてにおいて実施された。各地区自由な発想のもと四十三地区四十三様と言えような多種多様な取りくみがなされた。各地区ともに「人の輪」「地区をよくしよう」という心の輪が形成され「自分達の手にする自分達のまちづくり」を体験し、市民参加のまちづくり事業をして有意義な成果を収めた。

又、平成十二年度には「二十一世紀わがまち夢プラン地区基本計画」を地区自の手で策定し

平成十三年度から実現に向けて取り組んでいる。夢プラン作成には、一地区二十万円の夢プラン作成費が支給された。

第一段階(推進事業)「どうしたら自分達の地区が素敵になるか」第二段階(支援事業)「どのようにして二十一世紀に向けた魅力ある地域づくりを進めるか」第三段階(夢プラン推進事業)「あってほしい理想の地区の姿を地区民の手で」

こういった一連の事業が十年間のスパンで行なわれており、四十三地区、四十三様の取り組みは地域の活性化資源を創出する中で、個性を活かした地域づくりを自ら実践する市民活動への意義は強まっている。

行政に頼るのでなく、地域ぐるみで力強い直接行動を起こす時代がやってきており、公助から共助への時代へと転換する必要がある自立への道を歩んでいく必要があると感じてきたのです。

(北沢 貢)

大都市に近く、水稲以外取り組む条件(選果場、JA組織)が無い等から、急速に農業後継者が減少しております。

公社をJAとの受託分担等まだ未整理の問題がありそうです。

(奥村義臣)

## 議会だよりアンケート 結果報告

昨年十一月の議会だよりについてのアンケート調査では、残念ながら「回答いただいた方はあまり多くはありませんでしたが、それぞれ貴重なご意見を寄せられ、感謝申し上げます。」

以下結果の概略について報告いたします。

○議会だよりをどの程度読まれますか

- ・毎回ほとんど読む 三七%
- ・毎回部分的に読む 二六%
- ・時々、興味のあるとき 三〇%
- 興味のある記事は(複数回答)
- ・一般質問 六八%
- ・定例会の様子 三八%
- ・委員会だより 二四%
- ・予算、決算関係 二四%
- 内容はわかりやすいか
- ・わかりやすい 四一%
- ・何とも言えない 五五%
- 又、字の大きさは「間隔については、「特に気にならない」が八四%、「もう少し大きく」が九%。写真については、概ね可とする「意見を多くいただきました。その他「議会としての説明や主張が伝わってこない」「論点について議員の考え方や記載されるとわかりやすい」「村広報、館報との関係(重複等)」に留意すべき」等の「提言をいただきました。」



# 報 告

## 議会主導ですすむ

### 合併論議

#### ◎豊丘議会

改選を視野に入れた合併論議



我豊丘の里にここ数年の間に赤松が枯れ休耕田が目立

つ姿を毎日見て暮らす状況にある。

この私有地は国でも県でも管理はしてもらえず段々と荒廃していくのであろうか。村としてもこの私有地返手を出せない閉塞感にこの里の将来を考えさせられる。何とか動かさないといけない。

# 私の一言

私有地の里山と住宅に隣接する不耕作地の活用管理を行う組織と財政裏付(民間資金の活用)の両面に住民に納得出来る形として具体的な方法

## 元氣の出る豊丘に甦れ

北垣外 滝川重喜

はいよいよ大詰めに来た。議員有志(全員が二班に分散)による「合併について」行政視... この立案が出来るのは役場の若い職員の人達と考えます。そんな事は出来ないと考えず挑戦してはどうか。私も多めに協力したい。手始めに民間資金と役場の運営力と力を合わせるやり方で、子育て支援センターと子育て住宅の建設をやってみてはどうか。若い人達が望むならば自分達で必要なものを作ってしまってもどうか。是非とも若い人達の力をみせてほしい。最後に合併問題について。市田柿の里がこの地区の象徴と思われる。信州市田市”をこの里に誕生させることはこの里の将来を明確にすることに繋がると考えます。

察が新年早々に行われた。一班は、九月一日に合併する、更埴市、戸倉町、上山田町の法定合併協議会へ。二班は、自立宣言をした福島県矢祭町へ。

#### ◎北部議会

合併について研究を進めている北部議会合併問題研究会は、第一回会合で、北部統一した資料づくりを要請、第二回会合では、資料の検討、任意合併協議会設置、合併対策室の設置、西尾私案に反対する請願の提出等が協議され、各町村にもちかえり検討していただく事とした。第三回会合は、一月八日開催され、各町村での検討結果が報告された。

#### ◎広域議会

十一月開催の第二回定例会では十三年度決算が原案通り認定された。一般会計及び六特別会計総合計は歳入で、百億五千六百万余円。歳出で、九十三億七千二百万余円であった。監査報告では次の点が課題指摘された。

一般会計では前年比〇・七%の増であるが、保養宿泊施設「伊賀良湖岬信州」の今後の運営の在り方を検討されたい。

ふるさと市町村圏基金特別会計基金運用が極めて厳しい中、効率的で有効な事業の在り方を検討されたい。ごみ中間処理施設特別会計では本稼働での、住民への環境意識の啓発・周知徹底を図り、運行に万全を期されたい。飯田広域消防特別会計では消防費に占める人件費は、八〇%前後になっており、厳しい財政状況下にあるので、常に経費の見直しを行うとともに、住民生活の安全確保に務められたい。

特養老人ホーム特別会計では各施設とも収支残高が四千万円を越える好決算を確保したが、今後介護報酬の改定等を見据え、健全経営に務められたい。阿南学園特別会計では十五年度からは措置制度から支援費制度に移行するなど障害者福祉基盤の整備と多様化が進む中で、的確な事業運営に努められたい。飯田環境センター特別会計施設の老朽化を見据え適正な維持管理に務められたい。

# 編集後記

国の財政危機交付税削減の中の十二月定例会議。補正予算も財源は繰越金が殆んど。松茸も不作で村有林での収入五百万円弱で前年より百万円の減。予算特別委員会の審議も議論の余地も少なく迫力がでない。

一方合併論議は回を重ねるごとに熱気が出て来ている。一般質問の答弁で村長は「北部五ヶ町村の合併が良いと思う」。

暮の二十八日、十七町村の首長の合併に対する考え方が新聞で報道された。高森町長は自立の道を、喬木村長は一郡一市も視野にしている。五町村の首長にも温度差がある。温度差と言えばインフルエンザの季節。村内の開業医で治ればよいが、明神橋を渡って病院を訪れる人も多い。高森町は豊丘村にとって切り離すことのできない生活圏域、町長は自立とわかった。議会や町民はどうか最も気になるところである。もし高森町が自立となったら豊丘はどうする? 北部三町村か、飯田市に吸収合併か、苦しくとも自立の模索も現実味をおびていないだろうか。